

中核地域生活支援センターとは、あいネットと同じ役割を担っている千葉県内の福祉の相談窓口です。

まずは、中核地域生活支援センター連絡協議会会長より、地域生活支援センター事業の沿革と役割について講演いただきました。「誰もが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる」地域社会の実現を理念に掲げ、全ての地域住民を対象とし、

24時間いつでも相談・支援を受けられる窓口を担っている中核地域生活支援センターの歴史と役割を学ぶ機会となりました。

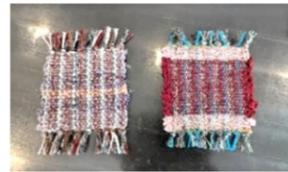
次に相談員が大切にしたいこと・することについて、講師の方がこれまで関わったケースから学んだことなど貴重な講義を聴くことができました。常に真剣に相談者さんと向き合い、寄り添う支援ができれば、何年たっても忘れ

られない支援になること。また、相談者さんから教えてもらうことの方が多いと伺い、相談者さんの安心や何か人生のきっかけになれるような関わりができるよう日々精進したいと思います。

最後にグループワークもあり、日々の支援の中での悩みを共有し、相談できる仲間がいることの心強さを感じた機会となりました。

就労準備支援室だより

柏市リサイクルプラザの見学に行ってきました。施設ではごみの減量・資源化を行っており、私たちの生活と再生工場の橋渡しをしています。工場内では古紙・空き瓶・金属類・ペットボトル・古布等をそれぞれ分別・圧縮、再生工場に搬出しており、見学された方からは「実際に人の手で大変な分別作業しているのを見て、家でもなるべくしっかり分別をしようと思いました」等感想を頂きました。



高柳福祉会たけのご様のご協力で、機織り体験をいたしました。たけのこは、就労継続支援B型/生活介護事業所で、工房では手織り製品の製作・販売をおこなっています。今回は裂き織でコースターを作りました。皆様初めての体験で、「もっと色々なものを織ってみたいなと思いました」「とても貴重な経験ができました」等感想を頂きました。



家計改善の雑学

「失業時にももらえるお金」

今回はお仕事を辞めた

時（失業時）にももらえるお金～雇用保険（失業手当）～についてのお話です。

失業手当は、仕事を辞め、次の仕事を探している間に受け取れる手当です。雇用保険に一定以上の加入・支払い期間がある人が受けとれます。受給金額はそれまでの給与額や年齢、受給期間は離職の理由や年齢、雇用保険の加入期間などにより異なります。この手当は一定の受け取れない期間があり、認定を受けてからすぐもらえる訳ではありません。この度、法が改正され以前よりは早く受け取れるようになりましたが、それでも退職をする時には約2カ月分の生活費を確保しておくこと心強いでしょう。

今回は雇用保険について簡単に説明しました。詳細については最寄りのハローワークにご確認ください。



柏市地域生活支援センターあいネット広報誌



2025年度第1号
2025. 7. 15/No. 192

柏市地域生活支援センターあいネットでは、柏市から委託を受け、障害の有無や年齢を問わず、生活にお困りの方の福祉に関するご相談をお受けしています。

広報誌「じんけん」ぼんでは、日々の相談員の活動や報告を中心にお届けしています。ご相談いただくみなさん、関わりを持っていただくみなさんにあいネットを身近に感じていただければ幸いです。



©ayako

もくじ

- 01：2024年度事業報告
こころの健康相談
- 02：対談：柏市福祉政策課×あいネット
- 03：研修報告【第1回中核地域生活支援センター連絡協議会研修会】
就労準備支援室だより
家計改善の雑学【失業時にももらえるお金】について

社会福祉法人 生活クラブ 風の村 柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0005 千葉県柏市柏 5-8-12 ラコルタ柏（教育福祉会館）1階

04-7165-8707

ainet@kazenomura.jp

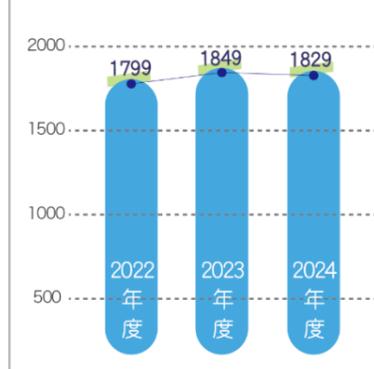
月-金曜日（祝日除く）8：30-17：15

WEBSITE



あいネット 2024 年度実績報告

過去3年の新規相談件数



昨年度、あいネットには新規の生活困窮相談が 882 件、福祉の総合相談が 947 件、計 1,829 件の相談が寄せられました。月平均では 152 件の相談件数でした。

内容別（のべ）では「経済的問題」が 2,728 件と最も多く、生活費の不足や収入減少など、生活基盤の不安が顕著に表れています。次いで「障がい相談」（941 件）、「就労相談」（885 件）、「家族間相談」（727 件）、「住居問題」（684 件）、「債務相談」（613 件）などが続いており、複数の課題を同時に抱える相談者も少なくありませんでした。

また、「医療相談」（347 件）、「高齢相談」（322 件）や「児童相談」（217 件）も目立ち、年齢や家族構成に応じた支援が求められています。さらに、「DV」（45 件）、「虐待」（31 件）、「希死念慮」（41 件）など命や安全に関わる深刻な相談も寄せられ、専門的な支援機関との連携が不可欠です。

「引きこもり」（221 件）や「不登校」（18 件）、「ヤングケアラー」（10 件）、「ペット関係」（69 件）など、社会の変化を映す多様な相談も見られました。

今後も関係機関と連携し、誰もが安心して相談できる環境と、切れ目のない支援体制の強化に努めてまいります。

目立つ相談内容領域

- 1 経済的な相談
- 2 障がいに関する相談
- 3 就労に関する相談

こころの健康相談

『ひとりで悩んでいませんか？』
精神科を受診したほうがよいか相談したい。
家族がこころの病気かもしれない。

このようなお悩みに対し、精神科医がアドバイスをします。ご予約の際は、下記のお申し込み先までお問い合わせください。

お申込み・お問い合わせ

柏市 保健予防課 精神保健福祉担当
TEL▷04-7167-1254/FAX▷04-7167-1732

相談無料



- 対象：柏市在住の方
- 場所：柏市柏下 65 - 1 ウェルネス柏 3 階
- 内容：精神科医による相談
 - ・月 4 回実施
 - ・1 回の面談は 1 時間程度

※ 現在治療中の方は主治医にご相談ください。
※ ご利用は原則お一人様 1 回です。

Vol.2

対談！柏市福祉政策課 × あいネット

あいネットの対談企画、Vol.2 は柏市役所福祉政策課の方々に対談しました！

福祉政策課は、あいネットが多機関協働事業者を担っている重層的支援体制整備事業に関する事業を含め、民生委員・児童委員や避難行動要支援者対策に関する事業など多数の事業を担当している部署です。二者で対談し、課題や思い、連携についてお話を聞かせていただきました。

（以下、ふ：福祉政策課・あ：あいネット）



■重層的支援体制整備事業（通称 かしまる）

地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、属性を問わない包括的な支援体制を構築する事業。柏市では 2022 年度からスタートしました。

あ：「かしまるがスタートし 3 年余りが経過し、手ごたえや見えてきた課題、今後の展望について教えてください。」

ふ：「当初は、事業名がとっつきにくいと言われていましたが、愛称が決まり、また、事業を利用したり会議に参加される支援者が増えてきて、徐々にご理解をいただいているように感じます。お困りごとがある方の課題解決を目指す制度ではありますが、支援者支援の側面も強いことが特徴である事業です。したがって、ぜひ相談機関からもご相談いただければと思います。必要があれば支援者の皆様に改めて事業概要をご説明いたします。ご不明な点や改善点があればご意見をいただきたいと思っております。」

■福祉の総合相談

あ：「現場ではどのような支援が求められていると感じますか。また、支援を担う人には、どんな姿勢やスキルが必要だと思いますか。」

ふ：「すでにご対応いただいているところですが、適切に聞き取り、適切な支援に繋いでほしいと思います。丁寧に聞き取り、適切に要点をまとめる。相談内容を踏まえて課題の全体像を把握することが重要だと思います。」

■民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣より委嘱され、地域住民の相談窓口として活動されています。

あ：「身近な相談窓口だからこそ汲み取れる相談内容について教えてください」

ふ：「高齢者からの相談が多いです。相談内容は心身機能の低下による生活の困りごとや心配ごとなど多岐に渡るので、臨機応変かつ継続的な支援が必要だと感じています。」

民生委員・児童委員の方々には、相談を受けたら、どこに相談したら良いかすぐに判断できるよう各種研修メニューを用意しています。とても頼りにさせていただいていますが、一方で民生委員・児童委員の方々の負担軽減にも配慮する必要がありますので、各機関と連携を図りながら、できる限り地域の方々の相談にのっていただいています。」

■地域見守りネットワーク事業

あ：「取り組みや相談件数について教えてください」

ふ：「この取り組みは、配食サービス事業者や配達事業者等の民間事業者と協定を締結し、日常の事業活動のなかで異変を感じた時に市へ状況提供の協力をしていただくものです。例えば、ポストに新聞等が詰まっていたり、前回配達したものがそのまま置かれていたりした時等に連絡をしていただいています。また、協定締結事業者以外の方からも同様の情報提供をいただくこともあります。実際に連絡をいただくのは年に十数件程度、月に約 1 件くらいです。連絡をいただいた際には庁内各部署と連携し、対象者の安否確認等を行っています。また、必要に応じて警察や消防にも情報提供し、対象者の捜索に協力を求めています。」

■柏市防災福祉 K - Net

あ：「取り組みについて教えてください。」

ふ：「避難行動要支援者へ地域住民による災害時の安否確認等の支援を希望するかを確認し、希望される場合は本制度への登録を行っています。現在は、対象者を介護度や障害者手帳取得状況から把握し、封書にて本制度のご案内をしています。2011 年東日本大震災では、柏市で震度 5 強が観測され、本制度による安否確認を行いました。当時は事業が始まり数年でありましたが、町会長等を中心とした地域住民の皆様にご尽力いただき、当時の登録者の約 9 割の安否確認がなされました。一方、本制度や個人情報に関する町会等の皆様からのご質問も増えたことから、説明会を開催するなど制度の周知に取り組んでいます。」

あ：「本日は貴重なお話をありがとうございました！！！」